

移住・定住の支援

アナ： 「市長が語る 2022 三島」第5回の今日は、「移住・定住の支援」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 早速ですが、2年以上続くコロナ禍で働き方が変わったり、生活スタイルを見直したりする人が増えていて、地方移住への関心も高まっていると聞きます。

市長： そうですね。

企業側もテレワークを進めたり、通勤手当を拡充して、新幹線通勤や地方移住を支援する動きが増えていると聞いています。

また、国・県・市が共同で実施している補助金も制度が拡充され、利用者が非常に増えています。

アナ： 地方移住の支援が広がっているのですね。補助金はどのような制度なのですか。

市長： 「移住・就業支援補助金」といまして、様々な要件がありますので、詳しくは担当課や専用ホームページをご確認いただきたいと思います。移住直前の10年間のうち5年以上かつ直近の1年以上を東京23区内にお住まいだった方、または東京圏から23区内に通勤していた方がテレワークで三島に移住された場合に、単身で60万円、2人以上の世帯で100万円を支給いたします。

さらに、令和4年度からは、18歳未満のお子さまがいる場合に、お一人につき30万円を上乗せいたします。

アナ： 条件があるということですが、お子さまがいて家族3人の場合ですと130万円の補助金が支給されるのは魅力的ですね。

市長： はい。

実は、この「移住・就業支援補助金」については、三島市への申請件数が県内の市や町の中で最も多くなっています。

また、都内へ新幹線で1時間もかからずに通勤ができるため、転職しないで移住できることが強みですが、テレワークが普及し、補助制度が拡充されたことで、一層、移住希望者の後押しに繋がっていくのではないかと期待しています。

さらに、首都圏からの移住に限らず、移住に合わせて住宅を取得したり、リフォームされる場合には、購入の場合で最大100万円、リフォームで最大25万円の補助制度もございます。

アナ： 金額が大きな補助制度ですので、利用を希望される場合には、必ず事前に条件をご確認いただきたいと思いますね。

さて、昨年は民間の金融機関が実施した「本当に住みやすい街大賞 2021 in 静岡」で、三島広小路が県内第 1 位に選ばれました。

そして、移住の支援制度も利用状況がとても良いということですね。

名実ともに三島が選ばれるまちになってきているのではないのでしょうか。

市長： 大変ありがたいことだと思っております。

三島に移住された方の中には、お知り合いの方にお声をかけたり、SNSなどで情報を発信してくださる方が大勢いらっしゃいますし、そのような方から、新たな三島の魅力や課題について教えていただくこともあります。

アナ： なるほど。

根っからの「みしまっこ」にとっても新たな気づきにつながりますね。

市長： 移住というのは、本当に大きな決断ですので、まずは三島に来ていただいて、よく知っていただくことが重要であると考えています。

今年 1 月から 3 月にかけて、首都圏の企業にお勤めの方を対象に、三島でテレワーク体験をしていただくツアーを開催したのですが、大変好評で、延べ 100 人の方にご参加いただきました。

なお、オンライン移住相談も実施しておりますので、お気軽にご利用いただけますと幸いです。

アナ： あらためて、首都圏から程よい距離で、自然が豊かな三島は、とても住みやすいと感じています。

首都圏の企業であっても、日中、三島にいながらテレワークで仕事をし、気分転換に三島の自然を楽しむ、そんな生活の選択肢が定着していくと素敵ですね。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。

アナ： 最後に、本日ご紹介いただいた制度についてのお問合せ先です。

移住・就業支援補助金、オンライン移住相談 については 政策企画課
住宅購入の補助制度、リフォームに対する補助制度については 住宅政策課
までお問合せください。

併せて、三島市ホームページ内に設けてあります移住者向けのホームページもぜひチェックしてみてください。